



ETK1843083A

MJC-LLD-＊ 工法書

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してからご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本クロージャに関する安全上のご注意	
<p>危険</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	—
<p>警告</p> <p>右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本クロージャは、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・架空での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
<p>注意</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・本クロージャの組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 ・締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。水の侵入やケーブル及びクロージャの破損の原因となります。 ・塩害地域では、ステンレス鋼でも腐食する場合があります。
<p>注意</p> <p>コの字形の金属カバーを使っているメカニカルスプライスを使用する際には向きに注意してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリットレイのホルダ部への挿入方向を注意してください。金属カバーが外れる恐れがあります。 <div style="text-align: center;"> </div>
<p>お願い</p> <p>右記の内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバの配線は、許容曲げ半径15mm以上をお守りください。 ・融着接続作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 ・本クロージャの解体・再組立・導入ケーブルの追加などの作業を行う際は別途、部品の交換が必要とする場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。

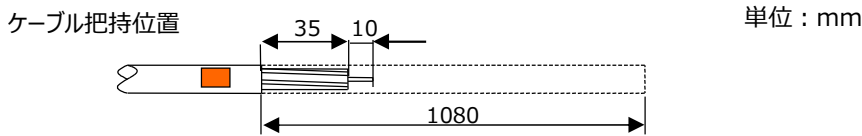
▽ 組立方法

【組立方法】

1. ケーブルの処理

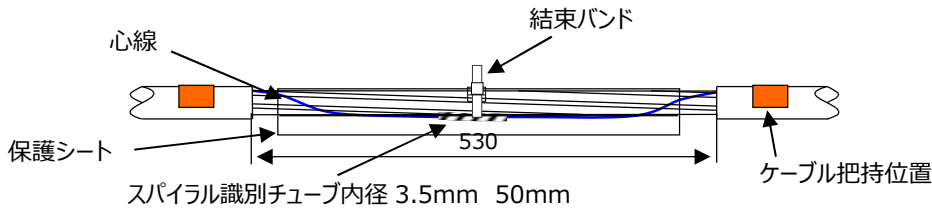
(1) 主ケーブルのシース剥ぎ取り及びテンションメンバ（以下 T M と表記）等の処理

① 端末ケーブル



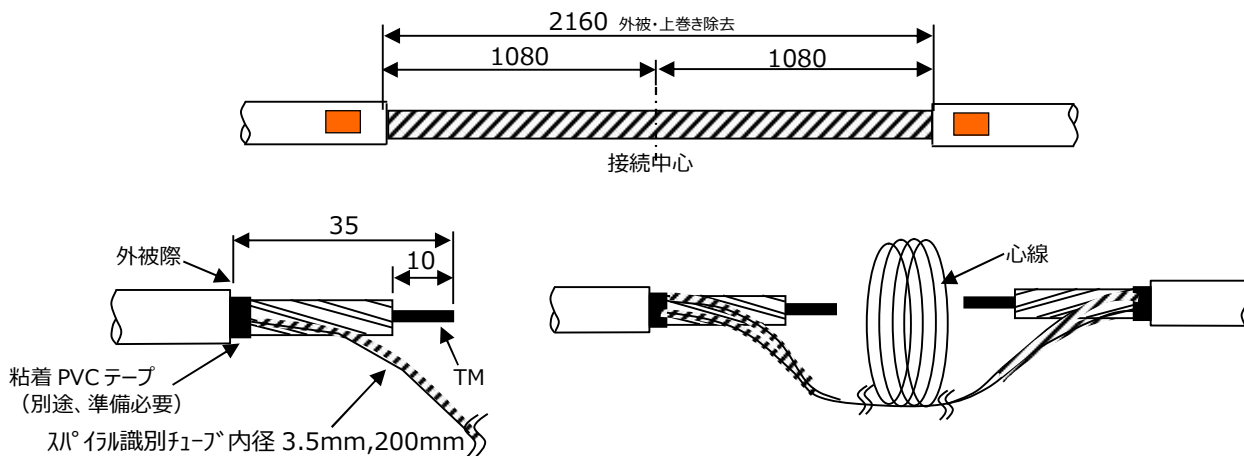
② スロット無切断引き通しケーブル

- ・通過心線にスパイラル識別チューブ内径 3.5mm を 50mm に切断しスロットの溝毎に巻き付ける。
 - ・スロットロットの溝から全ての心線を取り出した後、スロットロット中央部に結束バンドを巻き付ける（保護シートの移動防止）。
- 注意** 結束バンドは絶対に心線には巻かないこと。
- ・保護シートは中央部に結束バンドを通すための切り欠きを作成した後、スロットロットに被せて取付ける。



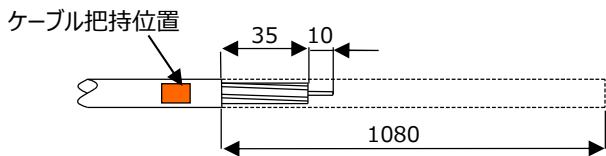
③ スロット切断引き通しケーブル

- ・通過心線にスパイラル識別チューブ内径 3.5mm を 200mm に切断し、スロットの溝毎に巻き付け（両側）下図のように固定する。

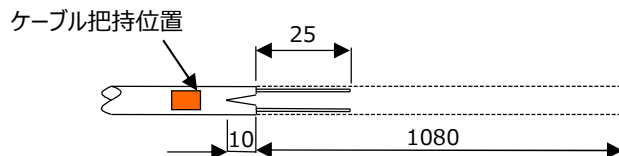


(2) 分岐ケーブルのシース剥ぎ取り及び TM の処理

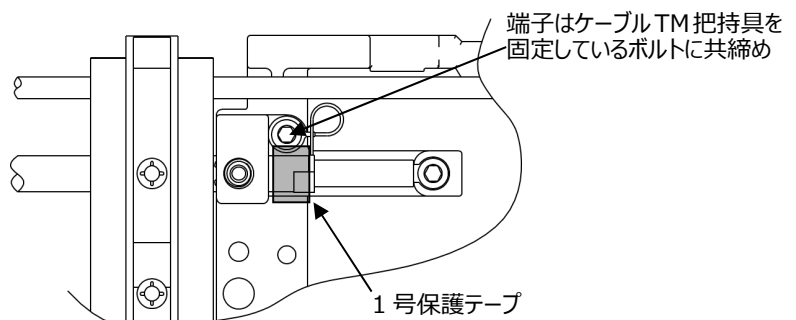
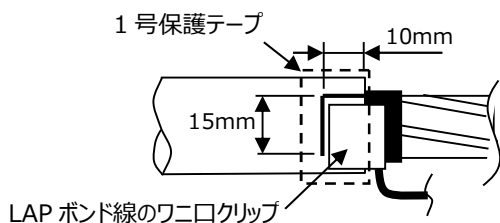
スロットケーブルの場合



スロットレスケーブルの場合



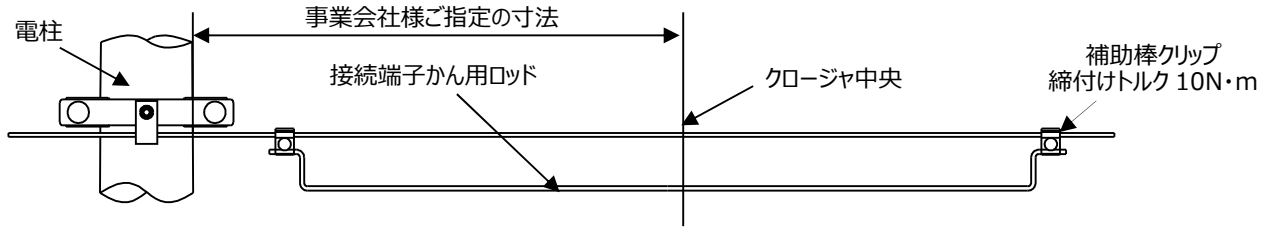
※LAP シースのアースは、LAP ケーブルの外被の剥ぎ際を下図のように L 字型に切り起こし、LAP ボンド線(オプション品)を取り付ける。金属部が露出しないように 1 号保護テープを巻きつける。反対側の端子はケーブル TM 把持具を固定しているボルトに共締めする。



2. クロージャ取付

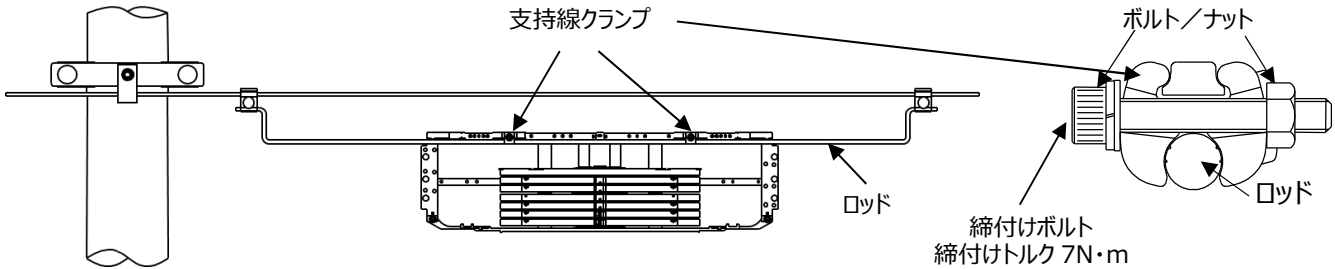
(1) 接続端子かん用ロッドの取り付け

- ・接続端子かん用ロッドを下図のように取り付ける。**注意**部品落下の無いよう注意すること。



(2) クロージャフレームの取り付け

- ・スリーブを取り外し、フレーム上部 2 箇所の支持線クランプのボルトを緩め、接続端子かんロッドに上方から引っ掛けた後にボルトを締め付けて固定する。



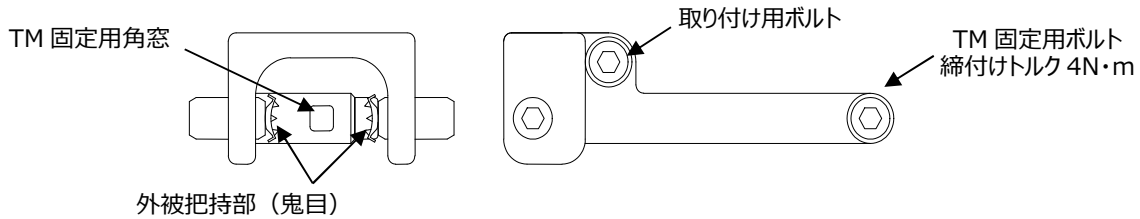
注意 トレイ間の光ファイバ配線を挟まないよう注意すること。

3. ケーブルの取付け

(1) 主ケーブルの取付け (端末の場合)

- ・テンションメンバを固定用の角窓に挿入し、TM 固定用ボルトをトルクレンチ 4N・m で締め付ける。
- ・ケーブルが変形しない様に目視で確認しながら、鬼目がケーブル外被に完全に食い込む迄ボルトを締め付ける。

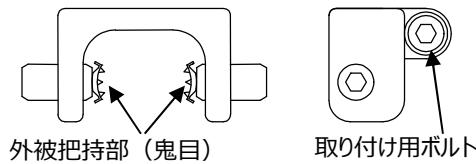
注意 2つの鬼目の締め付け量を調整してケーブルが中心からずれないように固定すること。



(2) 主ケーブル取付け (引き通しの場合)

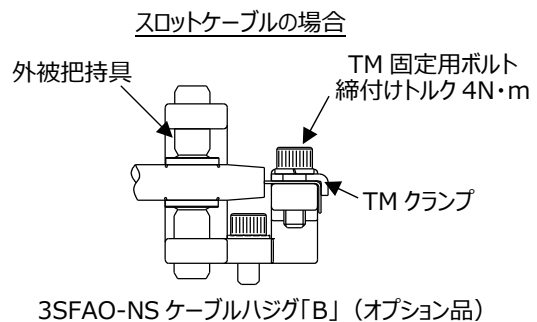
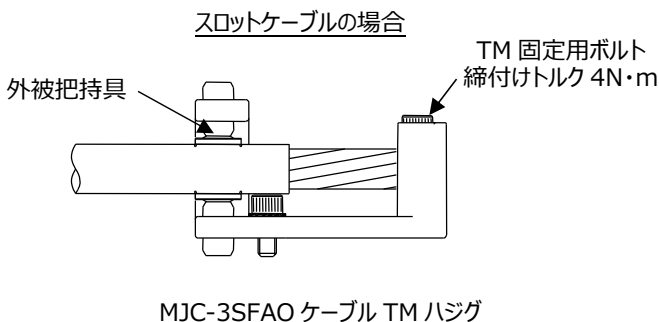
- ・ケーブルが変形しない様に目視で確認しながら、鬼目がケーブル外被に完全に食い込む迄ボルトを締め付ける。

注意 2つの鬼目の締め付け量を調整してケーブルが中心からずれないように固定すること。



(3) 分岐ケーブルの取付

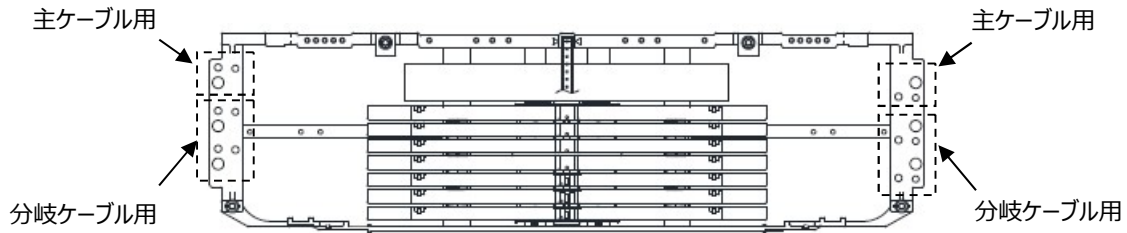
- ・スロットケーブルの場合は上記(1)の「主ケーブルの取付け」と同様の手順で締め付ける。
- ・スロットレスケーブルの外被はスロットケーブル同様、上記(1)の手順で締め付ける。テンションメンバは TM クランプに差し込みテンションメンバ固定ボルトをトルクレンチ 4N・m で締め付ける。



4.ケーブルの固定

(1)ケーブル TM 把持具の取付け

- ・下図の通り、フレームにケーブル TM 把持具を取り付ける。

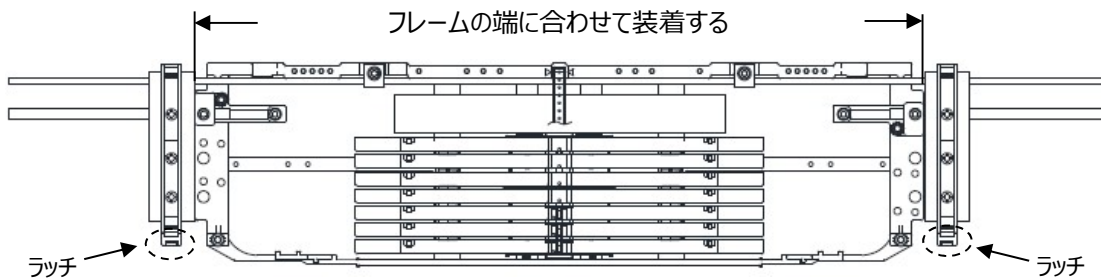


(2)端面板の取付け

- ・接続端子かんロッドの上方から端面シールを被せ、ケーブルを挟んで下部のラッチを嵌合させる。

注意 ラッチを確実に嵌合させること。

注意 ケーブルとゴムに隙間ができる場合は、隙間がなくなるまでなじませること。



5.心線の接続と収納

(1)トレイ固定ベース部の取扱方法

- ・指定のパラメータにより、トレイの構成・数量は異なるが、上から接続心線トレイ(白色)、FOトレイ(黒色)、アダプトレイ(暗灰色)の順に実装。

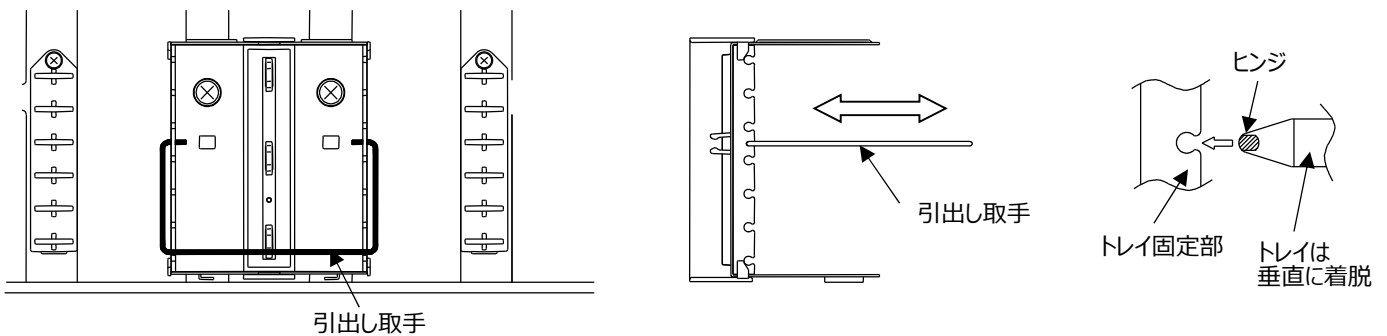
注意 万一、ヒンジ部を装着せずに作業した場合、トレイの落下事故が発生する可能性がある。

(2)トレイ固定ベースの引き出し

- ・トレイ固定ベースは引出し式。引出し取手を指でつまんで引き出すとトレイが開き作業可能となる。引き出しにくい時は、後方から補助的に押し出す。

注意 トレイのヒンジ部はトレイ固定ベースに確実に装着すること。

注意 部品および工具の落下、心線の挟み込み/局所曲げなどに十分注意して作業すること。



(3) 接続心線トレイの心線収納

・収納方法の一例を下図に示す。

注意 融着補強スリーブは多心用(FPS-5)を使用すること。

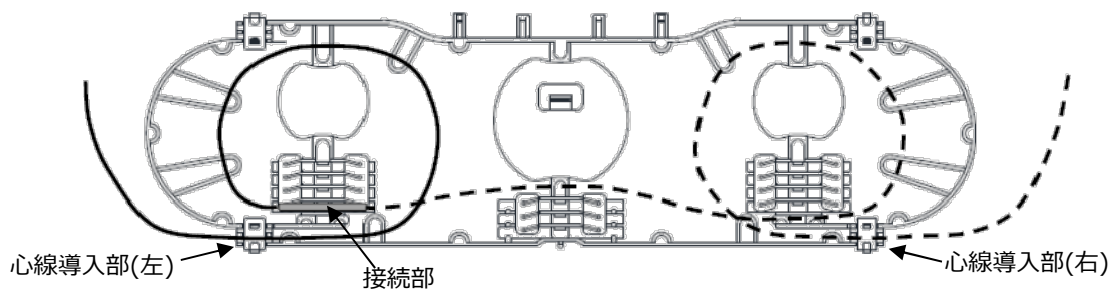
注意 単心用(FPS-1)は使用不可。

注意 接続する際は曲げ半径 R15 ファイバで接続すること。

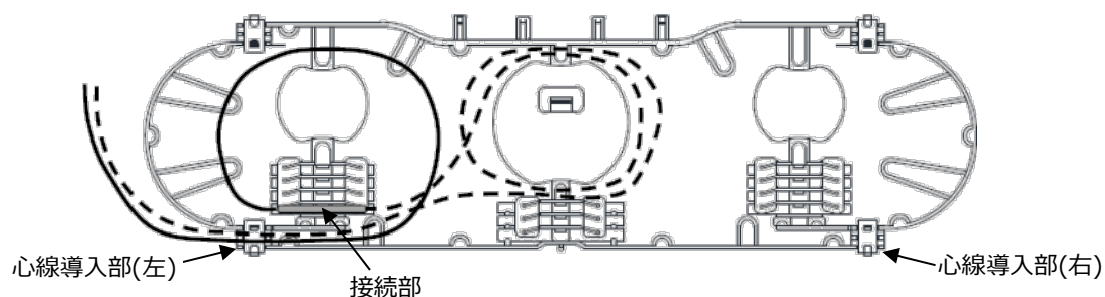
注意 接続余長を収納する際は曲げ半径 R15 以上で収納すること。

注意 テープ心線はできるだけファイバに捻れが入らない様に収納すること。

① 端末接続の場合で左右の心線導入部を使用する場合

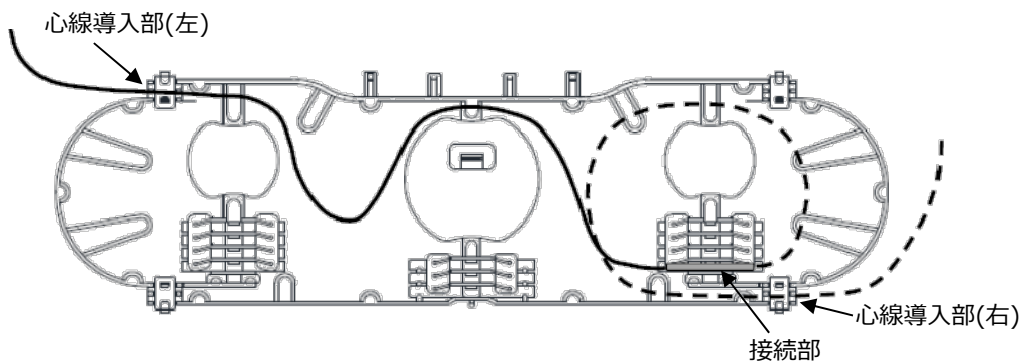


② 端末接続の場合で左右どちらか一方の心線導入部を使用する場合(左側導入の場合)



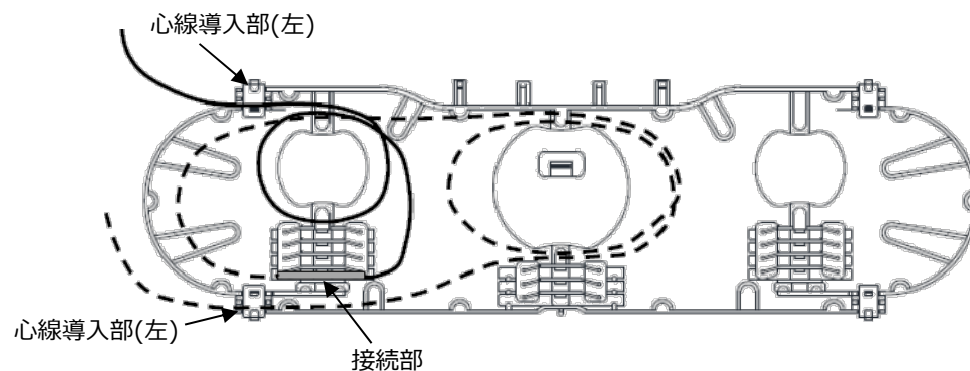
③ 通過心線と分岐ケーブル心線の接続で左右の心線導入部を使用する場合

(通過心線が左導入、分岐ケーブル心線が右導入の場合)



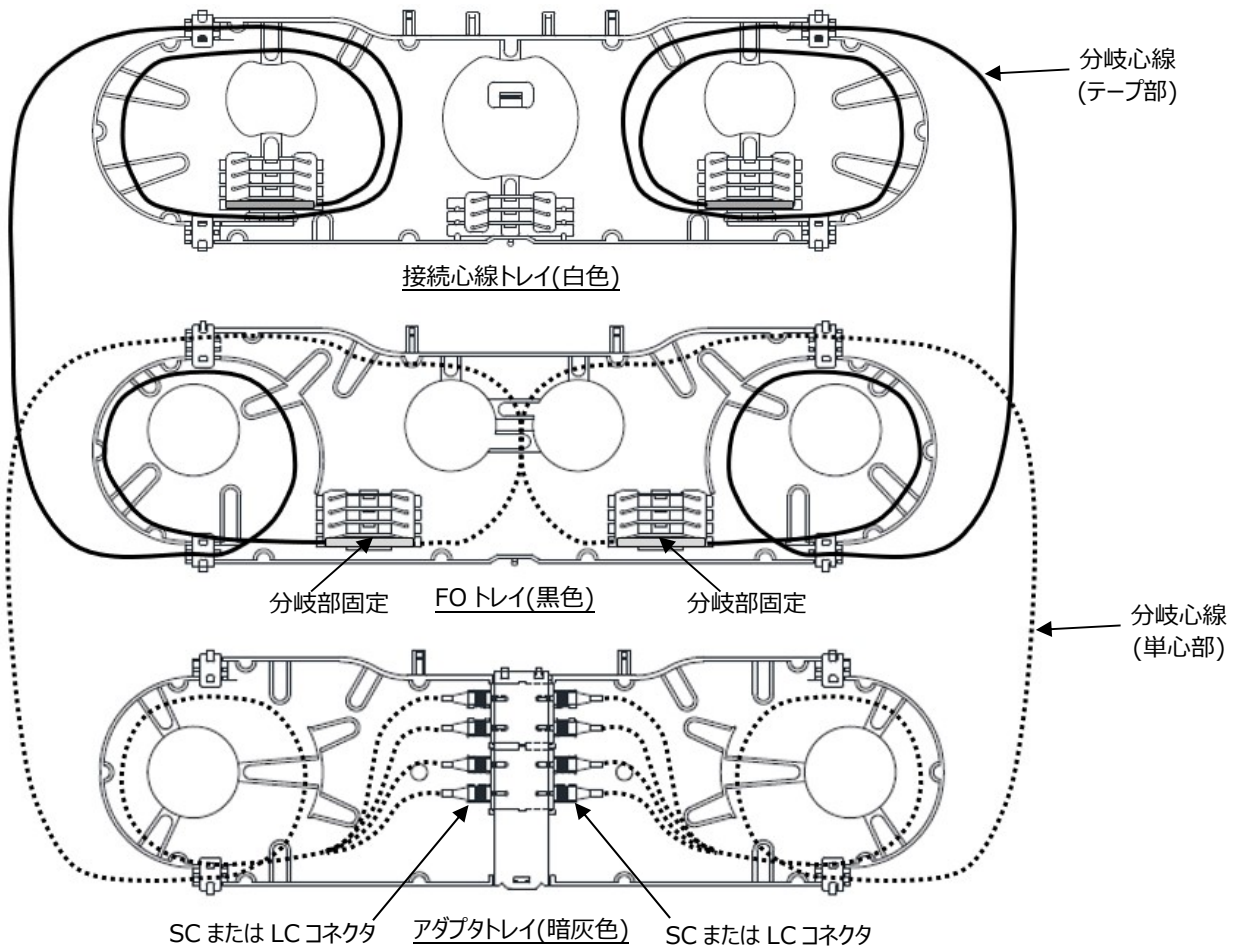
④ 通過心線と分岐ケーブル心線の接続で左右どちらか一方の心線導入部を使用する場合

(通過心線が左導入、分岐心線が左導入の場合)

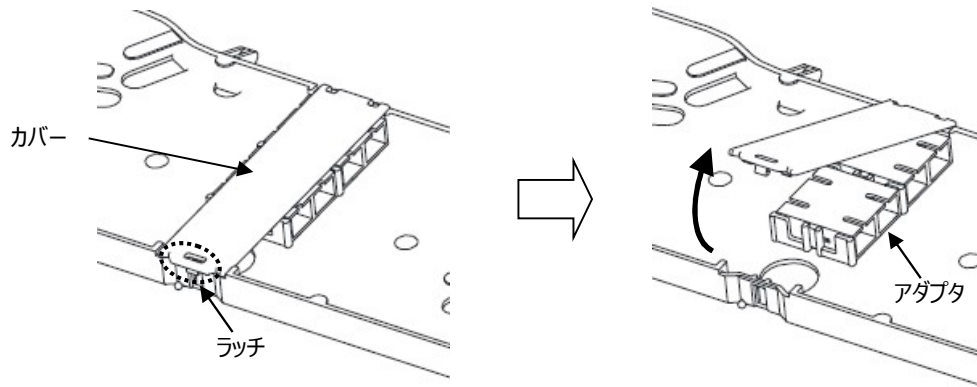


(4)コネクタ付き 4 心分岐心線の収納

- ・SC または LC コネクタ付き 4 心分岐心線の収納方法を下図に示す。
- ・分岐心線のテープ部は接続心線トレイ(白色)、単心部はアダプトレイ(暗灰色)に収納し、分岐部は FO トレイ(黒色)に固定する。

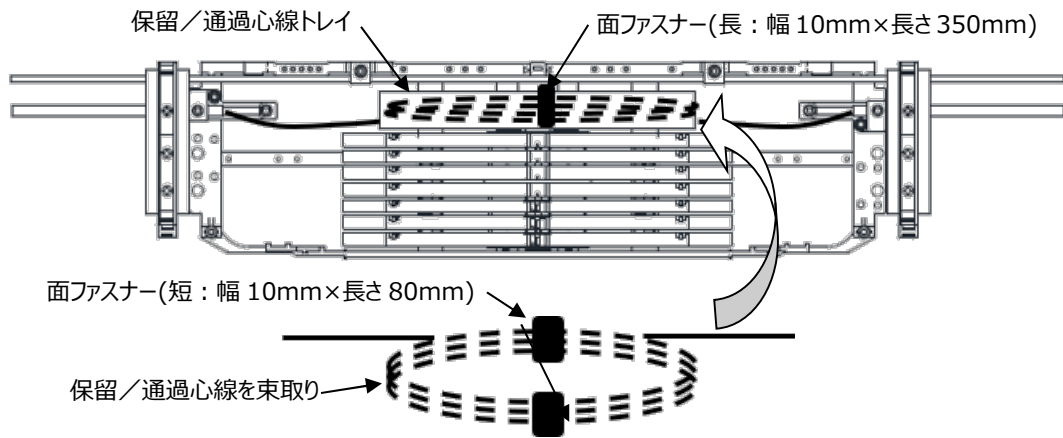


- ・コネクタ着脱の際は下図のようにアダプトレイのカバーのラッチを外し、SC または LC アダプタを取り出してから行うこと。



(5) 保留／通過心線の収納

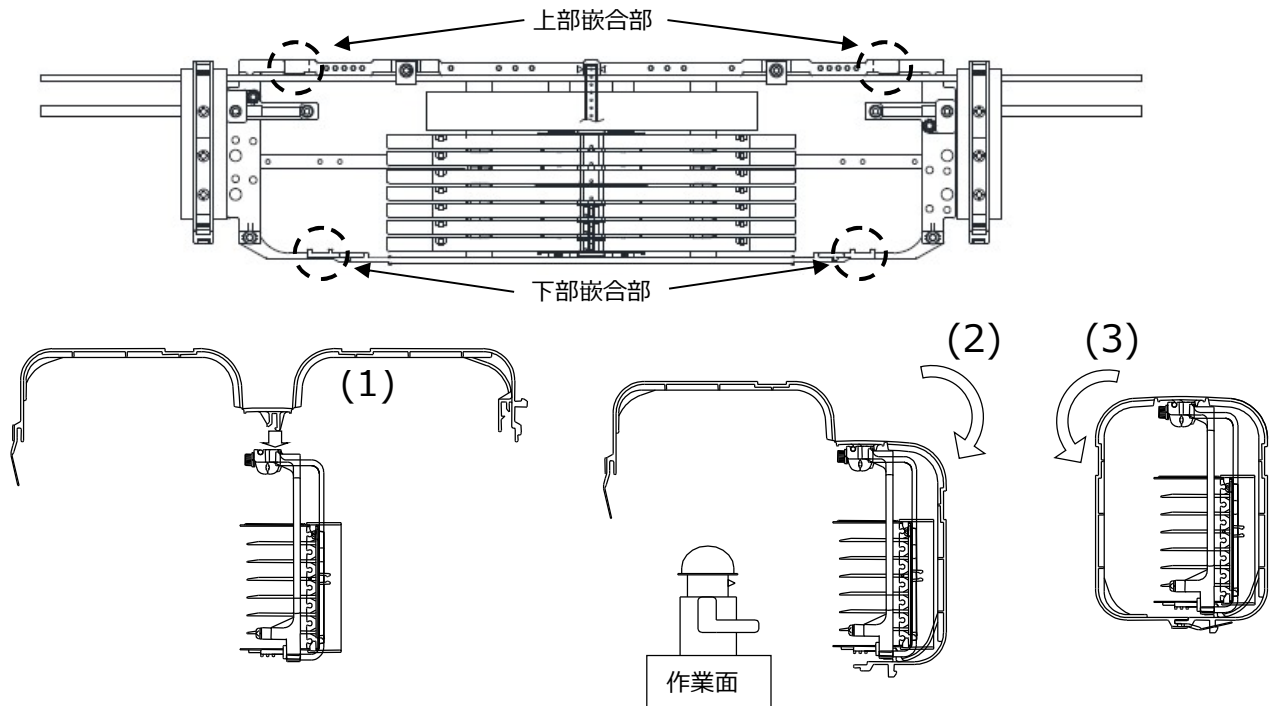
- ・保留／通過心線は、下図のように束取りし、面ファスナー(短)2個で2箇所、ほう縛する。
- ・ほう縛した心線の束を保留／通過心線トレイに収納し、面ファスナー(長)1個を保留／通過心線トレイの外周に巻いて固定する。



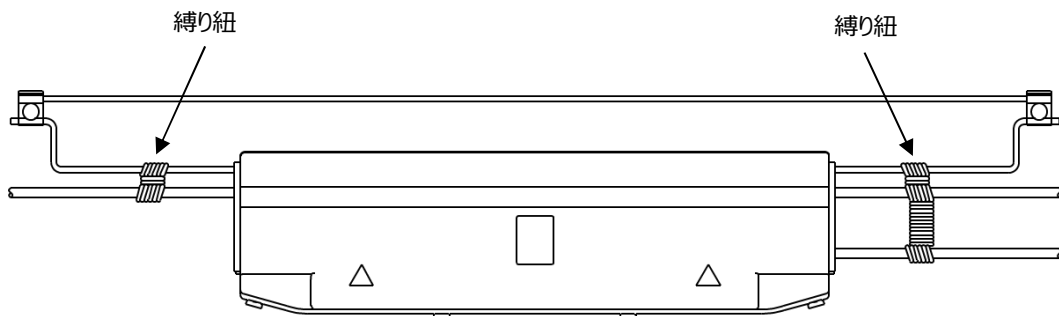
6. スリーブの取付

- (1) スリーブをフレームの真上から被せ、上部嵌合部を装着する。
- (2) 反作業側を降ろし、下部嵌合部を装着する。
- (3) 作業側を降ろし、スリーブ下部のラッチを嵌合して作業終了。

注意 スリーブ下部のラッチは2段フックになっております。両方とも確実に嵌合させること。



- (4) ケーブルがクロージャと水平を保つよう、縛り紐で調整する。



以上